



2006年度第3四半期 決算 アナリストミーティング

2007年2月15日(木)

業績の状況 (連結)

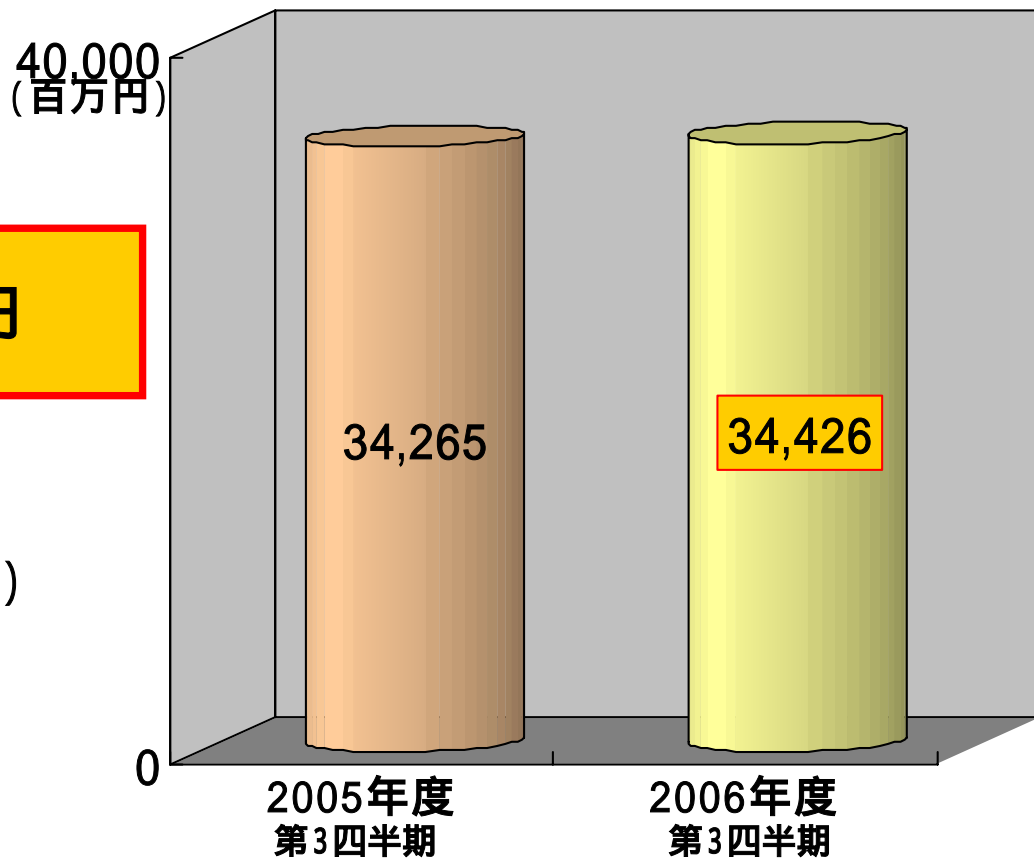
(百万円)

	2005年度		2006年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同四半期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
売上高	41,665	100.0%	41,992	100.0%	327	0.8%
営業利益	3,660	8.8%	3,716	8.9%	56	1.5%
経常利益	3,961	9.5%	4,145	9.9%	184	4.6%
当期純利益	2,326	5.6%	2,232	5.3%	94	4.1%

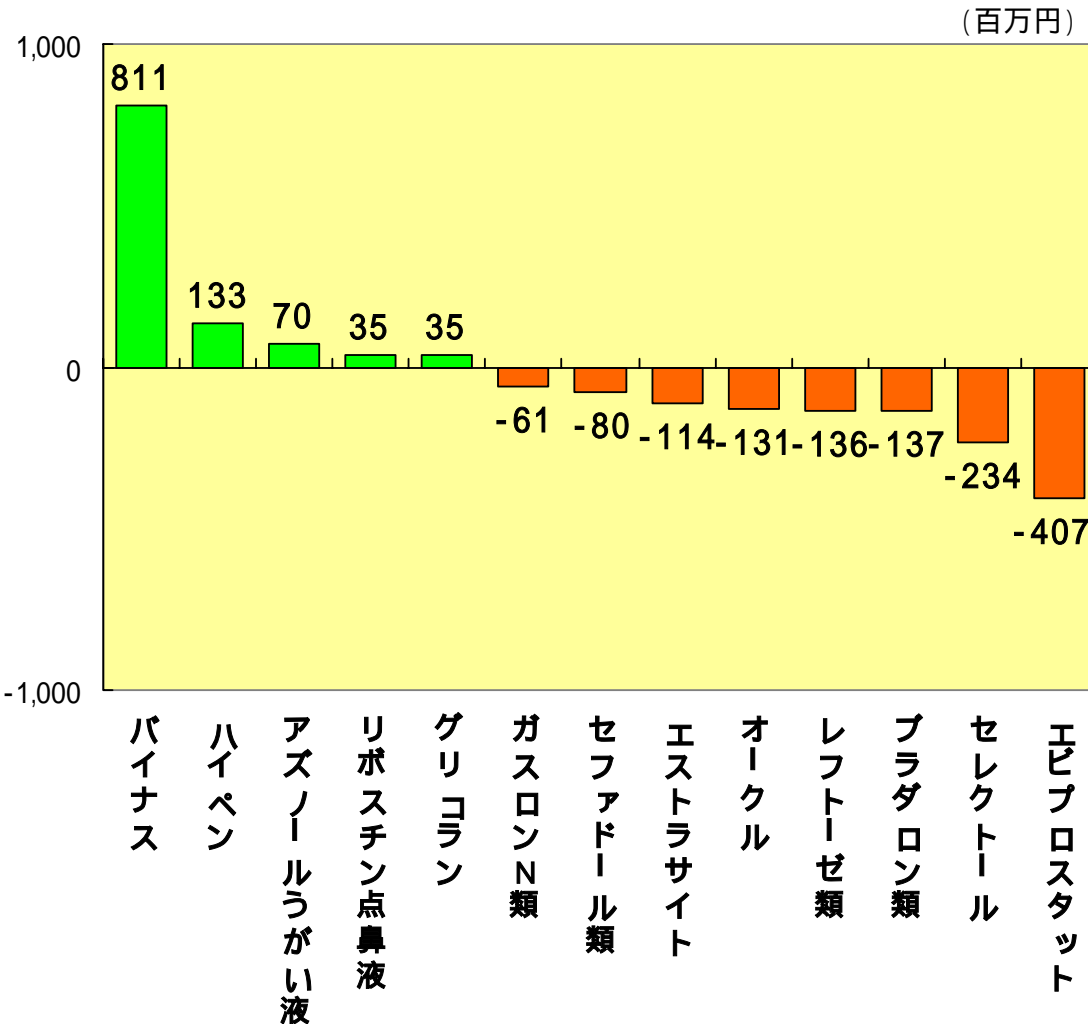
部門別業績推移(連結) 医薬品

実績 34,426百万円

対前年同四半期比
+161百万円(+0.5%)



主力品目 売上高増減



- ・ハイペン(3.3 % up)
(非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤)
- ・アズノールうがい液(6.1 % up)
(アズレン含嗽液)

等の伸長

- ・エビプロスタット(8.0 % down)
(前立腺肥大症治療剤)
- ・セレクトール(7.1 % down)
(高血圧・狭心症治療剤)
- ・ブラダロン類(4.3 % down)
(頻尿治療剤)

等の減少

- ・バイナス
(アレルギー性鼻炎治療剤)
- の寄与

医薬品売上の内訳

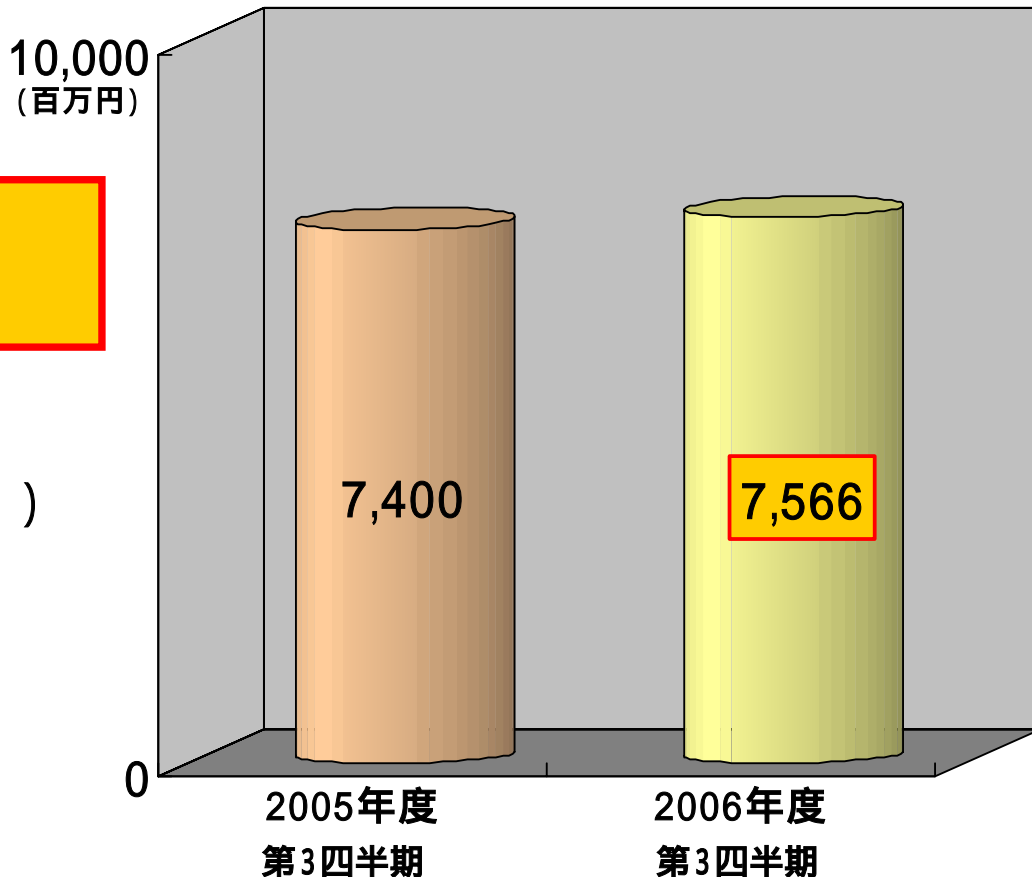
(百万円)

	2005年度		2006年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同四半期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
医薬品	33,119	96.7%	33,375	97.0%	256	0.8%
工業所有権等収益	186	0.5%	153	0.4%	33	17.7%
フルリフロキサシン原薬	839	2.4%	800	2.3%	39	4.6%
受託製造	121	0.4%	98	0.3%	23	19.0%
医薬品合計	34,265	100.0%	34,426	100.0%	161	0.5%

部門別業績推移(連結) 機能食品

実績 7,566 百万円

対 前年同四半期比
+ 166 百万円 (+ 2.2%)



機能食品売上の内訳

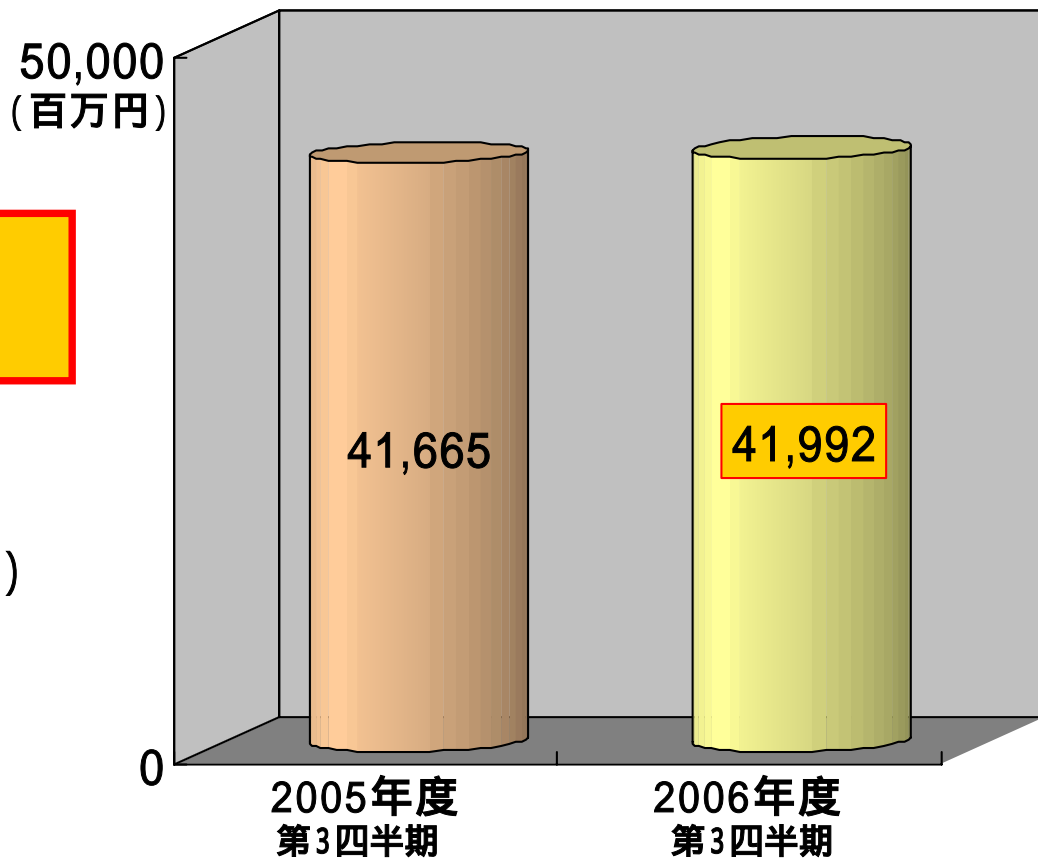
(百万円)

	2005年度		2006年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同四半期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
調味・香辛料	417	5.6%	404	5.3%	13	3.1%
品質安定保存剤	1,111	15.0%	1,095	14.5%	16	1.4%
たん白製剤	4,290	58.0%	4,649	61.4%	359	8.4%
除菌・洗淨剤	313	4.2%	285	3.8%	28	8.9%
小麦製品	124	1.7%	110	1.5%	14	11.3%
健康食品素材	711	9.6%	577	7.6%	134	18.8%
その他	434	5.9%	446	5.9%	12	2.8%
食品合計	7,400	100.0%	7,566	100.0%	166	2.2%

業績推移(連結) 売上高

実績 41,992百万円

対 前年同四半期比
+ 327百万円(+ 0.8%)



業績の状況 (連結)

(百万円)

	2005年度		2006年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同四半期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業収益						
売上高	41,665	100.0%	41,992	100.0%	327	0.8%
(医薬品)	(34,265)	(82.2%)	(34,426)	(82.0%)	(161)	(0.5%)
(食品)	(7,400)	(17.8%)	(7,566)	(18.0%)	(166)	(2.2%)
営業費用	38,005	91.2%	38,275	91.1%	270	0.7%
売上原価	17,436	41.8%	18,561	44.2%	1,125	
返品引当金戻入額	10	0.0%	3	0.0%	7	
販売費及び一般管理費	13,541	32.5%	13,393	31.9%	148	
研究開発費	7,037	16.9%	6,324	15.0%	713	
営業利益	3,660	8.8%	3,716	8.9%	56	1.5%

売上原価率: 薬価改定等の影響により +2.4ポイント

販管費: 減価償却費等の減少

研究開発費: 委託研究費等の減少

業績の状況 (連結)

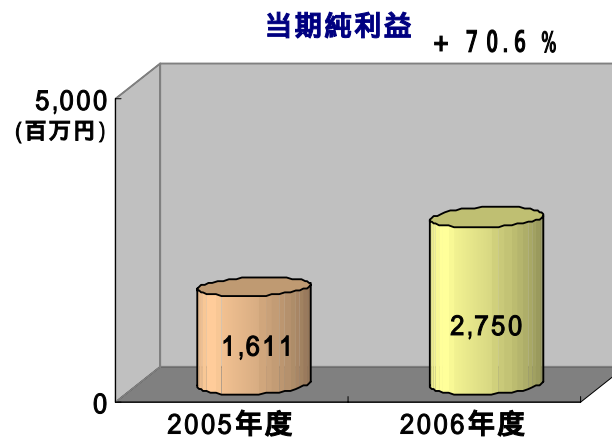
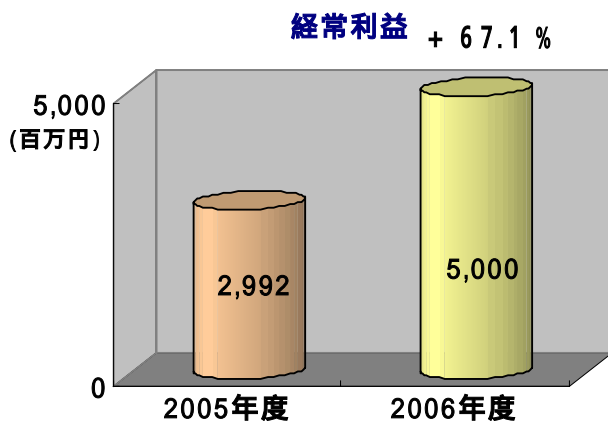
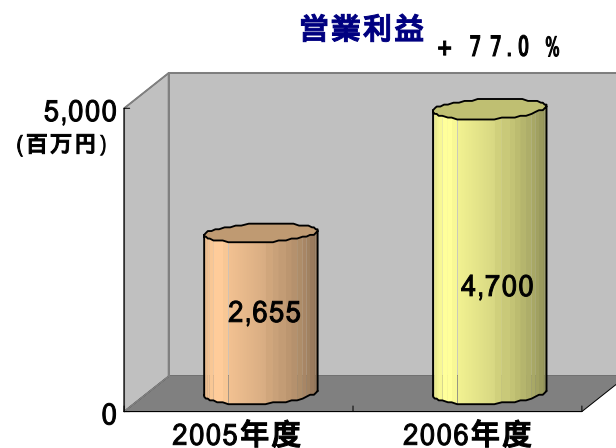
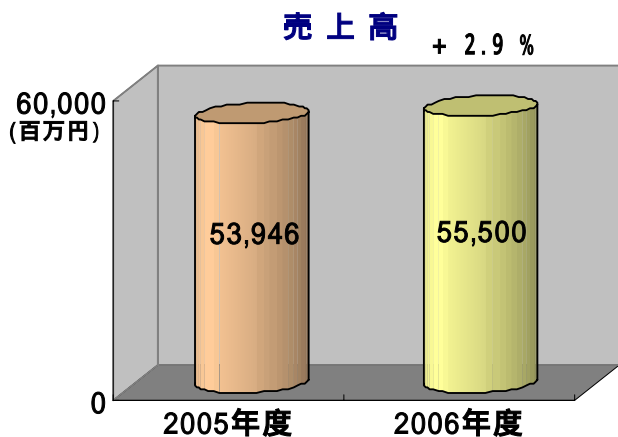
(百万円)

	2005年度		2006年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同四半期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業利益	3,660	8.8%	3,716	8.9%	56	1.5%
営業外収益	736	1.8%	851	2.0%	115	15.6%
営業外費用	435	1.1%	422	1.0%	13	2.9%
経常利益	3,961	9.5%	4,145	9.9%	184	4.6%
当期純利益	2,326	5.6%	2,232	5.3%	94	4.1%

経常利益：営業外収益の増加もあり増益

当期純利益：前年同期計上した、特別利益がなくなったため減益

通期業績予想(連結)







研究開発品目の進捗状況

共同開発・ライセンス契約

品 目		契 約		
NS - 17	骨髄異形成症候群治療剤	ファームオン(米)	導 入	'06/11
NS - 126	吸入ステロイド剤	久光製薬(株)	共同開発 日本新薬単独開発	'06/11
HFT - 290	癌性疼痛緩和貼付剤		共同開発 久光製薬単独開発	
NS - 315	経口癌性疼痛治療剤	グリューネンタル(独)	独占契約移行	'07/01

新製品開発状況(国内)

開発品目	申請区分	適応症等		開発状況	2004	2005	2006	2007年度	
		NS - 126 (導入)	新成分		吸入 ステロイド 剤	鼻 炎	申請中		
	喘 息	P							
NS - 315 (塩酸トラマドール) (導入)	新投与経路	癌性疼痛		P					
TRK - 091 (塩酸トラマドールSR) (導入)	新剤型 新効能	慢性疼痛 (整形外科領域)		P					
NS - 11 (アカンプロセート) (導入)	新成分	アルコール依存症		P					
NS - 17 (導入)	新成分	骨髄異形成症候群		P 準備中					

新製品開発状況(海外)

開発品目	申請区分	適応症	開発状況	2004	2005	2006	2007年度
NM441 (自社)	新成分	合成抗菌剤	韓国 申請中	柳韓洋行社 →		申請	
			US P			Optimer →	
HMN-214 (自社)	新成分	固形癌 (経口剤)	US P 準備中	→			Teva→
NS-9 (自社)	新成分	肝癌 (転移性肝癌)	US P	→			
NS-187 (自社)	新成分	慢性骨髄性 白血病	US/EU P			Innovive →	
NS-304 (自社)	新成分	肺高血圧症	EU P			→	

NS-126

- 吸入ステロイド剤 -

- 開発段階** : 鼻炎:06/12 申請
喘息: P a試験 終了
- 開発形態** : 自社
- 成分名** : 新規合成副腎皮質ステロイド
- 適応症** : アレルギー性鼻炎、気管支喘息
- 特徴** : 粉末製剤
1日1回噴霧 (既存薬は2~3回)

NS-315 (塩酸トラマドール)

- 非麻薬性鎮痛剤 -

グリュエントール社(独)から導入(世界の約100カ国で発売済み)

開発段階：癌性疼痛：P

(06/11 追加試験開始)

開発形態：自社

(07/01 独占契約に移行)

用法：3～4回/日

特徴：中等度鎮痛剤

NSAIDs < トラマドール < モルヒネ

NS - 187

- 慢性骨髄性白血病治療剤 -

- 開発状況** : イノバイブ社(米)へ導出 : 2005/12
P 試験(欧米) : 2006/07~
- 適応症** : 慢性骨髄性白血病
- 作用機序** : Bcr-ablチロシンキナーゼ阻害
Lynチロシンキナーゼ阻害
- 特徴** : グリベック耐性変異体にも効果



NS - 304

- 肺高血圧症治療剤 -

- 開発状況** : 欧州 (EMEA) オープン指定 : 2005/08
P 試験 (英) : 2006/06 ~
- 適 応 症** : 肺高血圧症
- 作用機序** : 選択的PGI₂アゴニスト
- 剤 形** : 錠剤
- 特 徴** : 長時間作用型経口剤

NS-17 (アザシチジン)

- 骨髄異形成症候群治療剤 -

開発段階: P 試験準備中

開発会社: ファーミオン社(米)より導入
米国 2004/07 発売

適 応 症: 骨髄異形成症候群(MDS)

成 分: アザシチジン

剤 型: 凍結乾燥粉末/バイアル
(用時溶解、皮下・静脈内注射)

特 徴:

- ・ DNA脱メチル化作用による正常分化増殖誘導
- ・ Low ~ High Risk MDS に有効
- ・ MDS治療の第一選択薬(米国)